

II 宇品・出島地区の現況

1 宇品・出島地区の現状

○強み

宇品・出島地区全体

- ・ 多くの自然資源や歴史資源、緑地があり、瀬戸内海の自然景観や行き交う船舶を眺められるなど、みなとの美しさや活力を感じられる場所です。
- ・ 周辺には、二つの世界遺産（原爆ドーム、厳島神社）があり、多くの観光客を呼び込める高いポテンシャルを有しています。

宇品中央地区～御幸松地区

- ・ 倉庫などを商業施設に利用転換し、新たな魅力を提供しています。（3店舗[約1.1ヘクタール]が利用転換済み）
- ・ 宇品波止場公園では、外国からの客船入港時等にイベントを開催し、多くの人々が訪れています。
- ・ 商業施設とその一帯のエリアの愛称を「宇品デポルトピア」と定め、イメージアップを図っています。
- ・ 明治以降の旧宇品港の発展を示す歴史資源が数多くあります。
- ・ 御幸松地区には、商業施設等に利用転換できる広い空間があります。
- ・ 水際線では、瀬戸内海の多島美や元宇品の緑を眺めることができます。

元宇品地区

- ・ 瀬戸内海国立公園に指定されており、クスノキ等の照葉樹で構成される原生林があります。
- ・ 原生林や自然海岸では、多様な生物に触れ合うことができます。
- ・ 海に沈む夕日や行き交う船舶など、瀬戸内海の美しい景色を眺めることができます。
- ・ ひろしま海の駅や民間マリナー、ホテルなど、海と関わりの深いレジャー施設が多数あります。

地区内の港湾緑地

宇品波止場公園	2.2ha
宇品中央臨海公園	0.5ha
御幸松臨海公園	0.2ha
元宇品港公園	0.2ha
広島みなと公園	9.0ha

※ 工事中の33ha除く



宇品波止場公園のイベント

平成23年度開催の主なイベント

- ・ 広島夢花火大会（H23.7）
： 約43万人（民間・市）
- ・ 帆船フェスタ（H23.10）
： 約2.8万人（県・市）

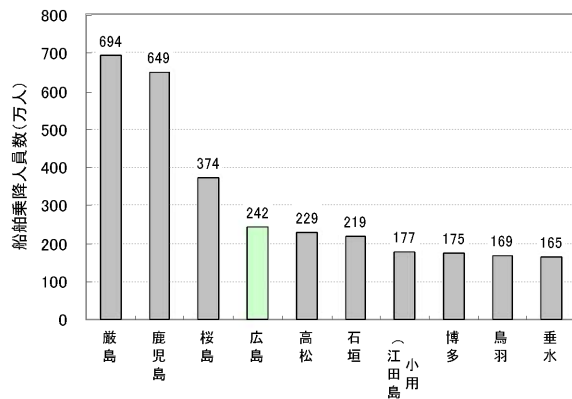


元宇品から望む夕日

宇品内港地区

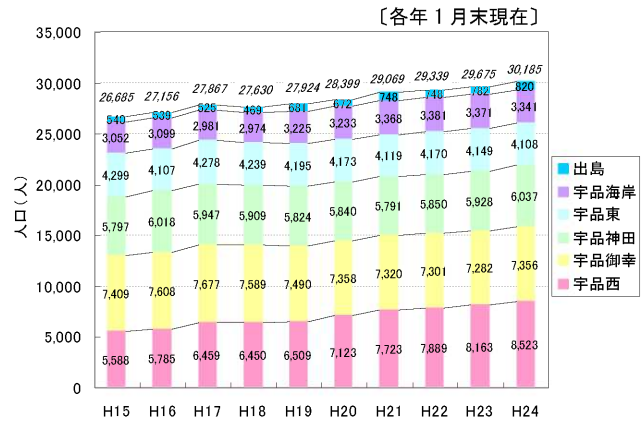
- 宇品旅客ターミナル及び旧宇品旅客ターミナルは、全国有数の船舶乗降人員数を誇り、多くの人々で賑わっています。

港湾別船舶乗降人員数（平成 21 年）



※船舶乗降人員数は、港内航路を含んでいません。
出典：港湾統計（年報）平成 21 年

宇品・出島地区周辺の人口推移



出典：住民基本台帳

- 宇品旅客ターミナル及び旧宇品旅客ターミナルには、商業施設や会議室として使用できるスペースがあります。
- 広島みなと公園は、上下水道施設及び配電設備が整備されており、様々なイベントやスポーツ、レクリエーションに使用されています。

平成 23 年度開催の主なイベント

- かき小屋 (H23. 11～H24. 5)
： 約 13 万人 (民間・県)
- 瀬戸内うまいもんグランプリ (H24. 3)
： 約 3 千人 (民間・県)

- 広島南道路北側は、近年市街化が進み、人口や商業施設が増加しています。

出島東地区

- 商業施設等に利用転換できる広い空間があります。
- 大型船舶を停泊できる係留施設があります。
- 広島特別支援学校の建設工事が進んでおり、新たな土地利用の動きがあります。
- 水際線では、瀬戸内海の多島美や元宇品の緑、宇品旅客ターミナルを発着する多くの船舶を眺めることができます。

出島沖地区

- 現在埋立工事中で大規模な緑地が計画されています。

●弱み

宇品・出島地区全体

- ・ 魅力的な資源は多くあるものの、点在しておりスポット毎の魅力にとどまっています。
- ・ 宇品・出島地区の魅力に関する積極的な情報発信が少なく、認知度が低い状況です。
- ・ 徒歩や自転車で快適に回遊できるプロムナードは、未整備の区間があります。

宇品中央地区～御幸松地区

- ・ 宇品波止場公園は、休日や大型イベント開催時以外の利用者が限定的です。
- ・ 宇品中央地区では、イベント開催時に駐車場が混雑します。
- ・ 宇品中央地区の商業施設（宇品デポルトピア）は、休日の利用者が多く、周辺道路の混雑が発生しています。
- ・ 一方、宇品波止場公園駐車場の利用率は低い状況です。
- ・ 宇品中央地区まで行ける公共交通機関の路線がありません。
- ・ 御幸松地区の宇品御幸松広場は、休日に開催されるフリーマーケットの利用に留まっています。



宇品波止場公園（イベント非開催時）



宇品御幸松広場（利用が少ない）

宇品内港地区

- ・ 宇品旅客ターミナルと旧宇品旅客ターミナル、広島みなと公園、広島南道路北側市街地の商業施設を有機的に利用できる仕組みが不十分です。
- ・ 宇品旅客ターミナルにはテナントスペースがありますが、入店していない区画があります。
- ・ イベント開催時には、広島みなと公園駐車場が混雑します。

出島東地区

- ・ 広島国際フェリーポートを利用する航路は、運航休止中です。



広島国際フェリーポート（休止中）

出島沖地区

- ・ 埋立工事中で利用できるまでには一定の期間を要します。
- ・ 人の往来が多い宇品内港地区から距離があります。

□ (参考) 宇品・出島地区周辺を含めた「商業施設等の立地状況」「公園・緑地・広場の整備状況」「歴史文化資源の分布状況」

※「○」は各資源の強み、「●」は弱みを示しています。

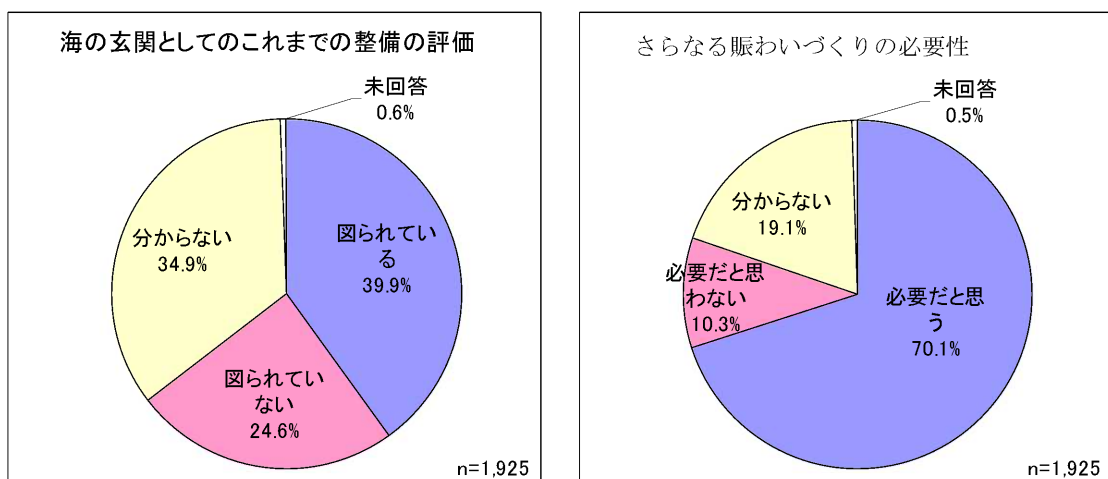


2 宇品・出島地区の利用者、住民の意向

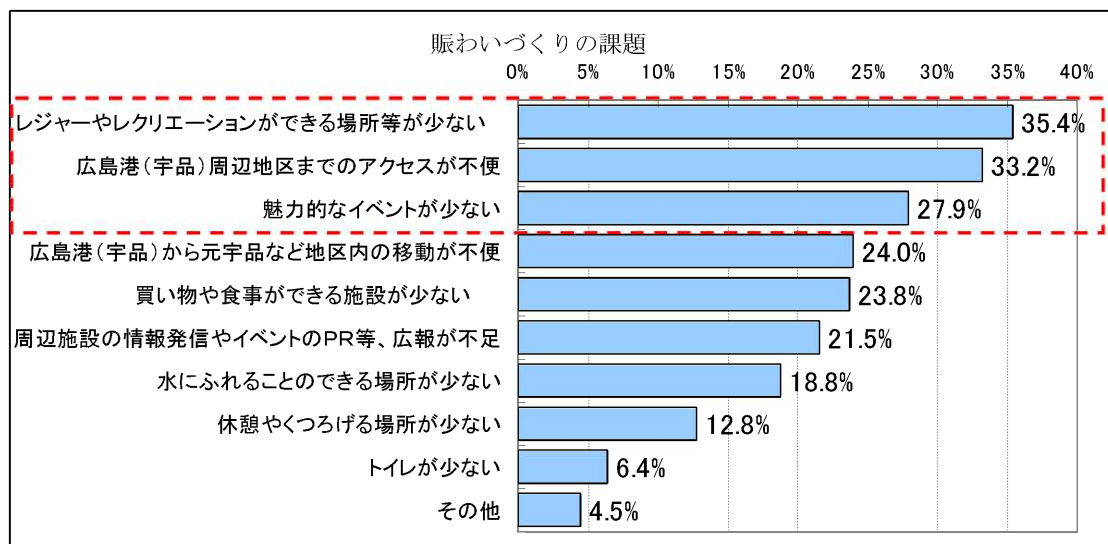
(1) 広島港(宇品)周辺地区の賑わいづくりに関するアンケート

- ア 実施日 平成 22 年 10 月
- イ 実施者 広島市
- ウ 対象 地区の利用者等
- エ 目的 自転車を核としたまちづくりの検討資料

- ・ 4 割以上が「海の玄関口整備」が図られていると評価しているものの、7 割以上が「さらなる賑わいづくり」が必要と回答しており、一層の賑わいづくりが期待されています。



- ・ 賑わいづくりの課題として、「レジャーやレクリエーションができる場所等が少ない」「広島港(宇品)周辺地区までのアクセスが不便」「魅力的なイベントが少ない」と回答している人が多く、その改善が求められます。



※回答数 1,925 人 (複数回答あり)

- ・ 地区内を移動する適した手段は、施設利用者や住民では「自転車」との回答が多く、自転車の利用環境改善が期待されています。

(2) 宇品・出島地区の利用に関するアンケート

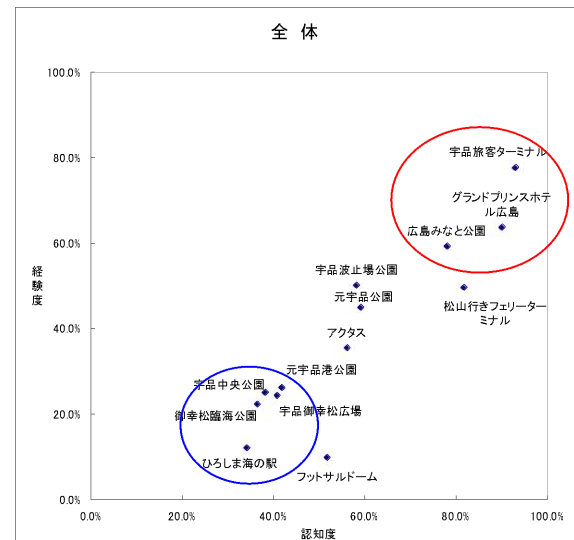
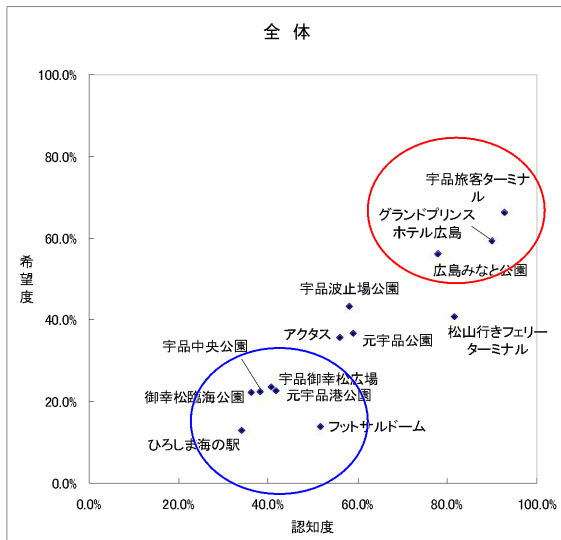
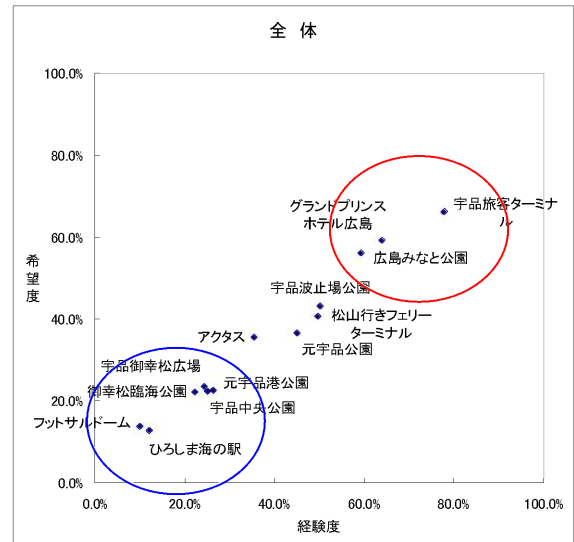
ア 実施日 平成 23 年 3 月

イ 実施者 広島県

ウ 対象 地区の利用者

エ 目的 地区の施設別の「経験度」「希望度」「認知度」等の把握

- ・ 認知度が高い施設は、概ね希望度と経験度も高くなっており「宇品旅客ターミナル」「グランドプリンスホテル広島」「広島みなと公園」がそれぞれ高い値を示しています。認知度を上げることで、利用意向が高まり、利用増につながると期待されます。



- ・ 多くの利用者（利用経験者）は、ひとつの施設のみを訪れており複数の施設を回遊していません。各地区を結ぶプロムナードの充実や施設の魅力を向上させることで、回遊性が高まり、新たな賑わいが創られると考えられます。

主な施設の利用者数（利用経験者）		複数施設を訪問している人数等（主なもの）		
施設の名称	利用経験者数	施設の名称	利用経験者数	利用者に対する割合
宇品旅客ターミナル	410 人	宇品旅客ターミナル ～広島みなと公園	34 人	5.0%
グランドプリンスホテル広島	336 人	広島みなと公園 ～元宇品公園	17 人	3.3%
広島みなと公園	306 人	広島みなと公園 ～宇品波止場公園	14 人	2.6%
旧宇品旅客ターミナル	257 人	広島みなと公園 ～アクタス広島店	14 人	3.0%
宇品波止場公園	257 人	グランドプリンスホテル広島 ～元宇品公園	12 人	2.2%
元宇品公園	229 人			
アクタス広島店	178 人			

※回答数 491 人（複数回答あり）

- ・ 目的別利用者の集計の特徴的な結果としては、「宇品デポルトピア」において若年層（20～30代）が、ショッピング等としての利用、宇品旅客ターミナルにおいて、各年代にわたってビジネス利用、各公園において、各年代にわたり、ひとり、又は家族で散歩・ウォーキングの利用、グランドプリンスホテル周辺の施設において、食事・買い物の利用が多いことがわかりました。

目的別の利用者数（利用経験者）									(単位：人)			
施設の名称	10代以下				20～30代							
	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス				
広島みなと公園	2	1		1	65	42	1	3				
宇品旅客ターミナル		1		11	11	6	10	164				
宇品御幸松広場 御幸松臨海公園					30	2	5	2				
宇品デポルトピア（宇品 中央臨海公園・宇品波止 場公園・アクタス広島店		3			61	35	64	6				
元宇品公園 元宇品港公園	2				51	16		1				
グランドプリンス ホテル広島等		2	4		10	36	73	4				

施設の名称	40～50代				60代以上			
	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス	散歩 ウォーキング	スポーツ レクリエーション イベント	食事 買い物	旅行 観光 ビジネス
広島みなと公園	54	22		1	75	21		2
宇品旅客ターミナル	13	14	4	152	37	13	14	142
宇品御幸松広場 御幸松臨海公園	40	13	7	5	69	14	12	2
宇品デポルトピア（宇品 中央臨海公園・宇品波止 場公園・アクタス広島店	64	34	29	6	125	40	17	1
元宇品公園 元宇品港公園	61	22		2	110	28		1
グランドプリンス ホテル広島等	22	26	56	11	32	26	72	6

※グランドプリンスホテル広島等：
・グランドプリンスホテル広島・フットサルドーム・ひろしま海の駅

※回答数 491 人（複数回答あり）

(3) 学生によるみなと活用ワークショップ 2011

ア 実施日 平成 23 年 7 月

イ 実施者 4 大学（比治山大学・広島市立大学・広島工業大学・広島女学院大学），
「みなとオアシス広島」運営協議会

ウ 目的 みなとの活性化に向けた関係機関への提言

- ・ 宇品・出島地区の賑わいづくりのために、学生の方から次の提案がありました。

- 地区の歴史，海辺の自然，遊びなどの学びの場としての活用が有効
- 海際を広い通路と魅力施設でつなぎ，移動自体が楽しくなる仕掛けが必要
- 統一したコンセプトが必要
- 既存の施設の使い方を見直し，新たな利用者を呼び込むことが必要
- 親子で楽しめるスペースの充実 など

3 関連計画から求められること

◇「瀬戸内 海の道構想」（平成 23 年 3 月中間報告，広島県）

- ・ この構想は、これまで十分に活用されてこなかった地域資源を発掘し、磨き、広域的につなぐことにより瀬戸内ブランドの向上を図り、消費や経済波及効果の増大及び雇用の促進等結びつけることを狙いとしています。
- ・ 構想の推進にあたり、瀬戸内の特徴的な強みとして、「多島美景観・まちなみ景観」、「地域に根ざした文化・芸術・産業」、「独特の食材・農林水産物」の3つのサブブランドと戦略テーマを定め、地域が一体となって中長期的にプロジェクトを展開することとしています。
- ・ 7つの戦略テーマのうち、広島港では、「船と航路とみなと賑わい」を中心に、「瀬戸内 サイクリングロード」、「瀬戸内 食のトップブランド」にも関わって行ける可能性があります。

（広島港に関わる戦略テーマとそのねらい）

戦略テーマ	ねらい
船と航路と みなと賑わい	瀬戸内ブランドのシンボル商品として、クルーズやボートなどによる多島美を生かす船旅と上陸ポイント（寄港地）の賑わいづくりを進め、発信していきます。
瀬戸内 サイクリングロード	サイクリングという移動手段を、瀬戸内の地域特性を生かして観光資源として活用することで、新たな集客・交流を図ります。
瀬戸内 食のトップブランド	カキや柑橘類など瀬戸内の特徴的な農林水産物・食文化を提供する場の広域展開やプロモーション、商品開発等を通じて、食資源の付加価値化と農山漁村地域の活性化を図ります。

◇「広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画」（平成 21 年 9 月改正，広島市・廿日市市・岩国市・大竹市・和木町・呉市・江田島市・熊野町・坂町・海田町・柳井市・周防大島町）

- ・ 平和の象徴「原爆ドーム」、世界に平和を発信する「平和記念公園」、日本三景・「宮島」、日本三名橋・「岩国錦帯橋」という優れた資源を有し、JRやバス等公共交通で1～2時間圏内という距離的にも至便な位置関係にあるため、広島・宮島・岩国地域で観光圏を形成し、必要な整備等を進めることとしています。

（基本的な方針）

- ・ 本物志向の強い大都市圏のシニア世代や欧米からの外国人観光客を主なターゲットに、「滞在型」観光イメージの創出より、国際競争力のあるワンランク上の観光地域を目指します。

（その他市町村及び都道府県が必要と認める事項）

- ・ 観光客の「エントランスゾーン」となる交通拠点施設及びその周辺の魅力づくりや整備等を進め、都市機能と観光アクセス、観光圏内の交流・連携の強化を図ります。
- ・ 「水の都ひろしま」推進計画を着実に実施するため、河岸緑地などの整備に加え、水辺の利活用の促進や景観の向上を図り、観光客に快適で魅力的な「水の都」を目指します。
- ・ 瀬戸内海が有する歴史・文化・景観の魅力を活かすため、多様な主体の参加・連携により、瀬戸内海の環境創造、瀬戸内の魅力発信などを行います。また、老朽施設の改修などにより、観光圏内外の海上交通ネットワークの強化を図ります。

◇「水の都ひろしま構想」（平成 15 年 1 月策定， 国土交通省・広島県・広島市）

- ・ 太田川と瀬戸内海の存在は、広島市の大きな個性であり、また快適な環境の源となっています。その魅力をより一層引き出すためには、「水の都」づくりという方向で市民・企業・行政それぞれの努力を計画的に結集していく必要があります。
- ・ そのため、「水辺等における都市の楽しみ方の創出」、「都市観光の主要な舞台づくり」、「『水の都ひろしま』にふさわしい個性と魅力ある風景づくり」を目的に、「水の都ひろしま」構想を策定しています。

◇みなとオアシス広島（平成 23 年 3 月暫定供用， 広島市）

- ・ 「みなとオアシス」は、みなとの「にぎわい」創出を目的に、市民等が旅客ターミナルや緑地等の港湾施設を地域交流拠点として活用しやすくする国の制度で、国が認定・登録したところには様々な支援が行われています。
- ・ 広島市では、「みなと」を活用した各種イベントの実施などで、年間を通じた賑わいの創出を図るため、広島港宇品・元宇品・吉島地区をエリアとする「みなとオアシス広島」について申請を行い、平成 23 年 3 月 18 日に国土交通省中国地方整備局から仮登録を受けました。
- ・ 「みなとオアシス広島」では、広島港宇品旅客ターミナルや公園などの港の施設やスペースを活用して色々なイベントや情報発信を行って交流の場を提供し、多くの市民や来訪者が集まり、にぎわう魅力的な「みなと」づくりを進めることが求められています。

◇南区宇品・似島地区まちづくり構想（平成 20 年 12 月提案， 地域住民の方等）

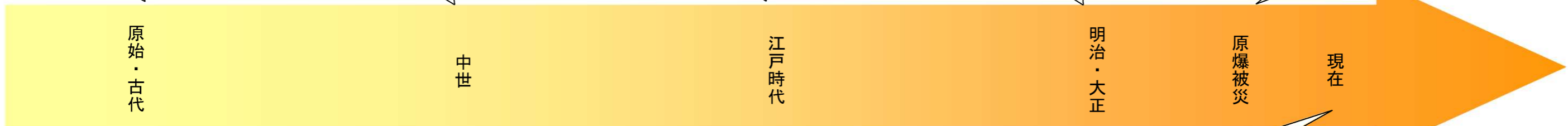
- ・ 広島市では、「地区別まちづくりワークショップ」を開催し、地区の課題や地域資源、まちづくりのアイデアや意見を出し合い、とりまとめています。
- ・ 宇品中央地区から宇品内港地区にかけて魅力を高める取組を行い、既存回遊ルートと連携したポートサイドプロムナード整備を進めることが求められています。



4 歴史から読み取れること

- ・ 広島は、川や海、みなとと深い関連があります。市街地の大部分は、太田川から運ばれた土砂の堆積や海の埋立によりつくられた土地の上に形成されています。また、川や海につくられたみなとは、各時代の要請に伴いその姿を変えており、いつの時代においても市民生活や経済活動等に対して重要な役割を果たしています。

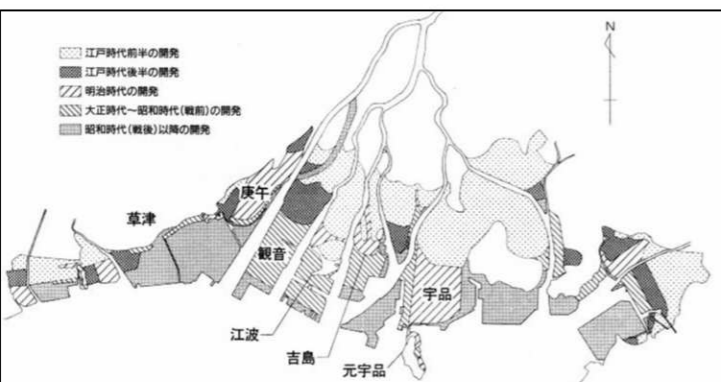
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 現在の市街地はほとんど海中でした。 ◇ 当時の海岸線には縄文時代や弥生時代の遺跡（貝塚）、太田川流域には古墳（豪族の生活基盤・経済基盤）が残ります。 ◇ 平安時代中頃には都と大宰府を結ぶ古代山陽道沿いに村が発展しました。 ◇ 11～12世紀頃には年貢を集積し船に積込む倉敷地が河口付近に設けられました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 太田川によって運ばれた土砂が堆積し、デルタを形成しました。 ◇ 承久の乱（1221年）後、新たに安芸国守護職となった武田氏は銀山城（安佐南区）に本拠をおきました。 ◇ 守護職を追われた武田氏は太田川流域を支配する分郡守護として復活しました。 ◇ 武田氏滅亡後、毛利氏が勢力を伸ばし、112万石の大名となりました。 ◇ 広大な領地経営の中心は吉田郡山城（安芸高田市）でしたが、軍事・政治・経済等あらゆる面で、海陸交通の要衝の地に移す必要が生じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 1589年、毛利輝元は五ヶ村といわれた太田川デルタの上に築城、「広島」と命名し、城下町を建設しました。 ◇ 関ヶ原の戦後、福島氏が安芸の領主となり、引き続き城下町を拡張・整備しました。 ◇ 江戸時代には、浅野氏が領主となり、広島城下の南方の干潟を次々と干拓し、江戸・大阪・京都・名古屋・金沢に次ぐ大都市となりました。 ◇ 内海航路沿いの最大都市として、他国船でにぎわいました。 ◇ 広島湾では、海苔・かき等が生産され、広島城下に集められたのち、上方へ積み出されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 1889年、広島は全国で最初の市の一つとして市制を施行しました。 ◇ 同年、千田県令により旧宇品港の築港工事が完成しました。 ◇ 皆実新開以南、宇品島に至る青海原は広大な陸地となりました。 ◇ 1894年、日清戦争が始まると、広島―宇品間の軍用鉄道（宇品線）が開通し、旧宇品港から多くの兵士・兵器・食料が大陸に送り出されました。 ◇ 相次ぐ軍事施設の設置に伴い都市施設が整備され、中でも城濠の埋立は一部に電車軌道が敷設される等、都市の景観を大きく変貌させました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 1929年、産業博覧会の開催 ◇ 1932年、旧宇品港は広島港と名を改め、工業港建設と埋立地を臨海工業地帯とする修築工事が始まりました。 ◇ 1945年8月6日、原爆被災。 ◇ 宇品地区は爆心地から3km以上隔たった「半壊地区」とされたものの比較的被害が軽微であり、宇品に駐屯していた陸軍船舶司令部は被爆直後から市街地中心部での救援活動に中心的役割を果たしました。
--	--	--	---	---



資料：『しろや！広島城 No. 22』財団法人広島市文化財団



資料：『しろや！広島城 No. 22』財団法人広島市文化財団



資料：広島市公文書館所蔵

◇ 現在の広島港には、国内外からの貨物を積み降ろしする岸壁・クレーンといった港湾物流施設や、フェリー・棧橋、旅客ターミナルといった旅客施設など、直接みなとを利用するための施設だけでなく、マリンスポーツを楽しむためのマリナー施設や、海辺の憩いと潤いを与える公園などの施設が整備されています。

◇ 歴史的な経緯を踏まえて、元宇品を中心として、東側は、「古くから旧宇品港として利用されてきた区域」、西側は、「新しく海の玄関口として整備を進めている区域」にみなとの特性を整理できます。

